



長い夏休みが終わり、2学期がはじまりました！



本日より2学期が始まりました。夏休み中はご家庭でのお子様の見守り、ありがとうございました。3年生は補充学習に勤しむ夏休みでした。今年はクーラーが各教室に入ったため、快適な環境で学習することができました。また、高校のオープンハイスクールに多くの生徒が参加しました。あこがれの高校を見つけることはできたでしょうか。自分の進路を切り開くため、2学期以降も継続してがんばってほしいものです。1・2年生は部活動がんばりました。新チームになってはじめての大会を終えた部も多いはず。9月から10月末にかけては公式戦である中播地区新人大会や神崎郡親善大会が行われます。夏の暑い中培ってきた力を、存分に発揮してもらいたいです。

夏休み中、家庭生活や学校生活に関してお子様の気になる変化等ございましたら、担任、養護教諭やSC（スクールカウンセラー）までお気軽にご連絡・ご相談くださいますようよろしくお願いいたします。

長い夏休みが終わり、2学期を迎えるにあたり、少しでも早く「切り替え」をしていきたいところ。さっそく明日から体育大会の練習が始まります。日中は外で過ごすことが多くなるため熱中症に注意しなければいけませんし、何よりも疲れがどっときます。今年度は創立40周年の記念として「ウォータークーラー」を2か所、同窓会より寄贈していただきました。どんどん使わせていただき、熱中症対策、万全に行いましょう。忙しい2学期ですが、学校生活のリズムに体と脳を慣らしていき、体調管理もしっかり行っていくことが大切です。水分補給（体育大会期間はスポーツドリンクOKです）と睡眠時間を確保して、体調管理してもらいたいです。今年の体育大会は40周年の記念大会です。今年度力を入れて取り組んでいる「連合（縦割り班活動）」の色を濃く出したプログラムとなっております。各連合1年生から3年生までが一致団結してグラウンドを駆け回る姿を、どうぞお楽しみに。

【夏休みに心にのこったことば 松井秀喜さん】

夏の甲子園、決勝戦。敗れた星稜高校OBの松井秀喜さんのコメントが、母校と後輩に対する、愛情とユーモアにあふれた素晴らしいものだったので、紹介します。



「結果は残念でした。見ていましたよ。決勝戦だけではなく、インターネットで全試合見てました。でも、仕方がないです。勝者と敗者が必ず出てしまうのが野球です。履正社とお互いに精いっぱい戦って、負けたわけですから。決勝戦も非常にいい試合でした。守備も良かったし、打線は苦しんでいましたが、智弁和歌山戦以降、爆発しましたね。今までの星稜だったら、智弁和歌山に負けて終わり。甲子園での死闘は必ず敗者になった。あの試合に勝てたことは、今までの星稜の歴史を変えてくれたと思います。令和元年、101回目の甲子園で、何か新しい歴史が始まる感じがしました。（中略）

でも、ここで優勝できないのが、星稜。母校のそういうところも大好きです。何か新たな宿題が残った感じですね。また、新たなチャレンジをして全国制覇を狙ってもらいたいですね。

ただ目標は全国制覇かもしれませんが、星稜高校野球部のモットーは、あくまでも、野球を通しての人間形成です。それが校訓である『社会に役立つ人間の育成』につながっていくと考えています。

後輩たちのプレーにたくさん感動させてもらいました。林監督はじめ選手の皆さん、本当にお疲れさまでした。そして、ありがとうございました。」

（引用：yahoo ニュース・デイリースポーツ）

【下校時間が明日(9/3)から変わります】 部活動終了 17:20 完全下校 17:40